

# 同志社大学

## 2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 3月 14日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	助教	渡邊 ひとみ
研 究 題 目	シャーデンフロイデの共有効果の検討	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2015年度は、上記研究題目に関する調査および研究成果報告を行った。シャーデンフロイデ (schadenfreude) とは、人の不幸を喜ぶ感情のことであり、この感情を他者と共有した場合に、自尊感情が高揚するかどうか、またその高揚にどのような特徴がみられるのかを主として検討した。</p> <p>調査は前年度の研究成果を踏まえ、シャーデンフロイデのターゲットとなる人物の特徴や不幸場面を操作し、(1) 不幸の相応性 (= 不幸の責任が当人にあるか否か)、(2) 場面 (学業場面 or 恋愛場面) の2点にフォーカスした研究を大学生を対象に実施した。</p> <p>研究成果報告については、国際学術雑誌に原著論文 (The Effects Of Self-Evaluation Threat On Schadenfreude Toward Strangers In A Reality TV Show) を投稿した。また、イタリア (ミラノ) で行われた国際学会 (The 14th European Congress of Psychology) において研究報告を行った (タイトル: The effects of self-threat on schadenfreude toward the unfamiliar people)。また、2016年4月に開催される日本発達心理学会第27回大会では、「他者の不幸を友人と共有する行為の効果(1)・(2)」というタイトルで発表予定である。</p>	